

人事院マスコットキャラクター 「KOHちゃん」制作秘話 ～原作者に聞いてみました！～

いわゆる「ゆるキャラブーム」が起こる前から、人事院のマスコットキャラクターとして活躍してきた「KOHちゃん」。実は人事院職員が制作したキャラクターです。

本誌でも度々登場していますが、読者の方々から、「あのキャラクターは何？」と聞かれることもあります。そこで、今回、KOHちゃんの原作者に、KOHちゃん制作秘話、KOHちゃんへの思いなどについて尋ねてみました。

月報編集部

KOHちゃんが誕生するに至った背景についてお聞かせください。

時は平成一〇年。国家公務員の人材確保対策の検討のため、人事院内に若手職員を中心としたプロジェクトチームが立ち上がりました。検討の主眼は、ターゲットをより明確にしたセミナーや説明会の開催。そのような中、子どもの頃からイラストレーターに憧れを抱き、また学生時代にもイラスト作成に関心をもっていた私が、「国家公務員をより親しみやすい存在にするために、例えば、キャラクターを用いたらどうか」と考え、描いてみました。その際、上司から「おっ、それいいね。これを世の中に送り出そう！」と力強く言われ、実現に向けた検討が進みました。当時は職場では末端の係員でしたが、自分で提案をできる雰囲気があり、かつ、提案が受け入れられたというその嬉しい瞬間を今でもよく覚えています。

このようにKOHちゃんが誕生し、制作に奔走した日々を送っていましたが、当時は二〇年描き続けることになるとは夢にも思いませんでした。

そもそも、なぜ「KOH」ちゃんという名前なのでしょう。また、何とも言えない不思議な形ですが・・・

「KOH」ちゃんという名前は、「公務員」の「こう」から取っています。公募し、検討した結果、この名前が一番おさまりが良いということになりました。

不思議な形かもしれませんが、直感として、白くて丸くて素朴なキャラクターに「国家公務員はお勧め」とニコニコしながら言われたら公務を身近に感じられるかもしれないと思い、頭に浮かんだキャラクターを描いたら、この姿になりました。

ちなみに制作当初は、「宇宙人」という設定でした。



KOHちゃんは、どのような形で世の中に登場したのでしょうか。

平成一〇年度に人事院が制作した国家公務員BIG BANG」という国家公務員採用

試験の概要、国家公務員の仕事概要などが簡単に掲載された採用試験受験者向け冊子の表紙に初登場しました。正確に言うと、KOHちゃんの生年月日は平成一〇年七月二七日です。

当時はまだ世の中に「ゆるキャラ」という用語が浸透していない時代であり、一般に堅いイメージを持たれがちな国家公務員の活動においてキャラクターを起用することは斬新だったようです。新聞や雑誌で紹介されるほどでした。



KOHちゃんを描く際に気を付けていることをお聞かせください。

初めて描いたときのような楽しい気持ちで前向きに描くことをいつも心がけていま

す。KOHちゃんは我が子のようなものなので、動きや表情に気持ちが表れてしまいます。採用活動といったポジティブな場面で登場することが多いことからしても、やはり楽しい気持ちを入れ込むことが大切だと思っています。

また、注目していただきたいのは頬の赤いマークです（巻末のイラストをご覧ください）。実はKOHちゃんが生き生きするかどうかは、このマークにかかっています。

これまで描いたKOHちゃんの中で、思い深いものを教えてください。

これまで描いたKOHちゃんは約一五〇体。ご当地版、国際版、季節物（サンタクロース、豆まき等）などもあります。その中で思い深いのは、平成三〇年の人事院創立七〇周年のために描いたKOHちゃんです。ちょうどKOHちゃんが生まれてから二〇周年という節目の年でもあり、「本当にここまで大きくなって・・・」という気持ちでした。今から還暦、古希、喜寿・・・どんなデザインにしようかと思案中です（笑）。



最後に、KOHちゃんに込める思いなどをお聞かせください。

KOHちゃんを通して、「アイディアは、楽しいと思うことから生まれる」というメッセージを伝えたいいつも思っています。二〇年前、どんな提案も認めてもらえる安心感があったからこそ、全く新しいKOHちゃんが生まれました。公務は常に新しいアイディアを生む場であってほしいと願っています。

KOHちゃんには、「どんなときでも笑顔になれること。出会った人を笑顔にすること」という想いを込めています。今後も笑顔振りまくようなKOHちゃんを一つ一つ描き続けていきたいと思っています。

本日はありがとうございました。